

同友しずおか 2020 10

VOL.503

社員を育てる
日報システム **nanoty**

私の逸品

(株)サンロフト

本当に役立つ日報とは



目次

- ・私の逸品 山田 尚子氏 (株)サンロフト・志太支部) 2 p
- ・会員訪問記 佐藤 義幸氏 (松本工業株)・富士支部) 3 p
- ・富士宮信用金庫と静岡同友会が包括連携協定を締結 4 p
- ・第48回青年経営者全国交流会をオンライン開催
第8分科会 杉本 かづ行氏 (有)静岡木工・榛南支部) 報告 5～6 p
- ・YouTubeチャンネル「わが経営を語る！静岡社長TV」 裏表紙



静岡県中小企業家同友会



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会 3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の成功体験しか聞けない
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 指示待ち社員ばかり
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 将来の会社のビジョンができた
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130
〒420-0857 静岡市葵区藤原町三丁目16-6F FAX/054-253-7620 E-mail/e.doyu@e.doyu.gr.jp

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1053 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
う え だ ひろかず 上 田 博和	(有)駿河ビル管理 ビルメンテナンス（清掃、ビル管理）	御殿場	石山 美歌
にし かわ かつみ 西 川 克己	(有)振和 介護事業（訪問介護、居宅介護支援、生活応援サービス）	沼津	越膳 徹
む ら の 村 野いづみ	癒しの泉 エステサロン（フォトフェイシャル、脱毛）	富士宮	朝日 康典
おか だ たかのり 岡 田 剛典	岡田設備 配管設備工事（新築配管工事、リフォーム配管工事、工場配管工事、住宅設備工事）	静岡	岩崎 和之
す ず き ひろひろ 鈴 木 寛彦	(有)むつごろう薬局 薬局（漢方薬）	静岡	大 戸 利 之 ／ HPより
た な か ひろし 田 中 宏	issyuu(株) 療術業（柔道整復業、整体業、パーソナルトレーニングジム）	浜松	江間 省豪

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。

新型コロナウイルス感染症関連支援策等 リンク先一覧

新型コロナウイルス感染症の影響で資金繰り等で困りの事業者の方へ

東海財務局HP内にて、県内での国、公的機関、金融機関及び地方公共団体の各支援策に係るリンク先一覧をご覧いただけます。右のQRコードよりぜひご覧ください。

(出典：東海財務局HP http://tokai.mof.go.jp/sizuoka/zimusyo_link_00001.htm)





本当に役立つ日報とは

(株)サンロフト (志太支部)

取締役 営業統括本部長 山田 尚子氏

パソコンブームに乗り 会社の基礎が出来上がる

(株)サンロフトは、1968年に朋電舎コンピュータ事業部を分社化する形で(有)朋電舎家電販売として設立され、1992年に現在の社名となりました。営業統括本部長の山田尚子氏はさかのぼる1988年、朋電舎に事務スタッフとして採用され、分社化に伴い(株)サンロフトに移籍しました。当時は、会社にもパソコンが入り始め、自宅にもパソコンをという流れが始まった時期です。時流に乗り、同社はパソコンショップを立ち上げ、従来からのB to Bのビジネスとともに、B to Cのビジネスにも参入しました。その後、インターネットの時代に突入し、同



吉田 和弘氏 山田 尚子氏 松田 敏孝社長(株)サンロフト

「nanoty」の前身です。 本当に役立つ日報システム、 「nanoty」

社のビジネスもホームページ制作や、システム開発など多岐にわたるようになります。社員も増えてくると、IT系の会社ということもあり、隣の社員が今日、何をやったのか分からない状況になることを予知した社長は、独自の日報システムを製作します。これが、日報システム「nanoty」の前身です。

通常の日報システムは、上司への報告という形をとる場合が多く、情報の流れは一方通行です。「nanoty」は社長の考え方を反映し、上司への報告型ではなく、全社で情報を共有するためのシステムとして構築されています。「役職や部署に関係なく、社員同士がお互いが高め合い、成長していくことができるようになる『nanoty』はサンロフトの情報の財産です」と語る山田氏は「nanoty」の新しい機能「サンクスコイン」について熱く説明してくれました。一緒に働く仲間にも助けられたり、パワーをもらった時、感謝をカタチにするのが、サンクスコイン機能です。サンクスコインを管理する機能も「nanoty」に持たせています。貯まったサンクスコイ



コーヒーなどと交換できるサンクスコイン

ンは、社内のカフェコーナードリンクやお菓子の購入に使えます。「誰でも、ちよつとした親切やアドバイスをもらったら、感謝をカタチにしたいし、サンクスコインをもらった社員もうれしいですね」と語る山田氏。取材陣も、心の通ったシステムとは、このようなものなのかと感心しました。

テクノロジーを親しみやすく

「テクノロジーを親しみやすく明るく夢のある情報化社会の実現」を経営理念に掲げる同社では、2020年に事業部を再編。HRTech(注1)やテレワーク、GIGAスクール構想(注2)など、同社の事業の周辺で急激な変化が始まっています。その時流をとらえるためにDX(デジタル・トランスフォーメー

(株)サンロフト

〒425-0074 焼津市柳新屋436-1
TEL: 054-626-3366
URL: <https://www.sunloft.co.jp>

設立 1968年
社員数 正社員55名、パート28名、
嘱託1名
入会年月 2020年7月
事業内容 IT事業(システム開発、
ホームページ制作)

注1 人事・人材(Human Resources)とテクノロジー(Technology)とを組み合わせた造語で、人材採用や人材育成、人事評価といった人事領域に活用できるデジタル技術のこと
注2 小学校の児童、中学校の生徒1人に1台PCと、全国の学校に高速大容量の通信ネットワークを整備し、多様な子どもたちに最適化された創造性を育む教育を実現する構想

ション)事業部を立ち上げました。地域活性事業にも積極的に関わり続けている(株)サンロフトは、地域の頼もしいIT事業者として、常に一歩先を走る会社だと実感して取材を終えました。
取材: 吉田 和弘氏
(吉田道明税理士事務所・志太支部)
取材・記事: 村松繁氏
(アイマーク(株)・志太支部)

会員訪問記

社員と楽しく取り組む健康経営で
笑顔あふれる職場に

松本工業(株)
代表取締役社長 佐藤 義幸氏 (富士支部)



笑顔あふれる職場にて、社員の皆さんと佐藤義幸氏（最前列中央）

富士市で総合建設業を行う松本工業(株)の代表取締役社長 佐藤義幸氏を訪問。積極的に推進している健康経営の取り組みについて伺いました。

自分らしく生きたいとの思いからキャリア転換を決意

佐藤氏は早稲田大学法学部を卒業後、素材・電気機器・光学機器等を手掛ける大手メーカーに新卒入社します。営業担当として奮闘するも「自分らしく・人間らしく」生きることにギャップを感じてキャリア転換を決意し、松本工業(株)へ入社。2018年には3代目代表取締役社長に就任しました。同友会は、リーマンショックで建設業も景気が厳しくなる中、何とかこの状況を打破したいと思い、前島章則氏(不二軽窓販売(株)・富士支部)の紹介で入会しました。

社員高齢化から健康経営に
目を向ける

どこの中小企業も抱えている社員の高齢化問題ですが、同社でも多分にもれず課題となっていました。社員の高齢化が進み、不調を訴える人や健康診断でメタボリッ



トレーニング中の佐藤義幸氏

クシンドロームに該当する人が増えてきていたそうです。そこで企業変革を決意し、経営指針から働き方改革を模索。その取り組みの一環として健康経営を始めたとのことでした。

「健康経営」で
笑顔あふれる職場

同社では会社のスローガンの第一に「健康経営」を掲げ、市の保健師に体組成測定を依頼して実施したり、「健康かわら版」という社内の健康情報誌を作成し月1回全従業員に配布したりと様々な取り組みを行っているそうです。また、気軽に運動する機会を持つため、朝礼時に「片足立ち大会」など楽しんでできるアクティビティも実施しています。今年の4月より、取材者の私(株)エンジニアメント)も、理学療法士・健康運動指導士の立場で健康経営に携わっており、月に2回訪問しています。社員も楽しく取り組んでいるようで、笑顔があふれる職場だと感じました。

若手社員採用や
新卒採用にもつながる

この健康経営の取り組みは、先月の8月号の「富士ニュース」の健康特別便の1面と「広報ふじ」の1面の両方で記事として取り上げられました。この取り組みを始めてから5年が経過し、楽しく健康で働ける職場になったことで、社員の健康が増進しただけでなく採用活動にも良い成果があらわれ

松本工業(株)

〒417-0051 富士市吉原1-11-8
TEL : 0545-52-3030
URL : <https://www.matsumoto-kogyo.co.jp/>

設立 1958年6月
社員数 30名
入会年月 2009年8月
事業内容 総合建設業(土木、舗装、測量、防水、塗装、リフォーム、各種営繕工事)

取材・記事：山田冬人氏
(株)エンジニアメント・富士支部



施術中の山田冬人氏

中小企業等支援に関する包括連携協定を富士宮信用金庫と締結 金融機関として県内4番目、共に地域社会の発展・成長を目指す



山本勝則・富士宮信用金庫理事長（右）
井上斉・静岡同友会代表理事（左）

静岡同友会は、金融機関、4例目となる包括連携協定を10月2日、富士宮信用金庫と取り交わし、締結しました。当日は富士宮信用金庫から山本勝則理事長をはじめ8名、同友会からは井上斉代表理事、富士宮支部役員をはじめ8名が出

席し、調印式が行われました。本協定は中小企業が抱える経営上の各種課題の解決と地域の中小企業の発展を支援すること、地域経済を活性化させることを目的としています。目的の達成に向けて、(1)中小企業等への情報提供、(2)

相互の研修等への参加・講師派遣、(3)地域における経済情報、動向等に関する情報交換、(4)個別企業からの相談対応、(5)その他中小企業等への支援に寄与する事項、の5点を掲げています。山本理事長からは「当金庫ではこれまでの融資スタイルを見直し、企業の事業内容や将来性を見極め、お客様の課題を解決するために『事業性評価』による融資や経営改善の支援を強化しております。同友会の理念は当金庫の経営理念と『地域と共に歩む』点が共通しており、同じ志を持つ仲間として地域社会の成長・発展を目指していきたい」とお話をいただきました。



調印式の様子

富士宮信用金庫は1992年12月に同友会に入会し、現在は西川充芳本店長（富士宮支部）が会員として同友会の活動に参画しています。

これまで静岡同友会は、教育機関では2008年の国立大学法人静岡大学と「相互協力協定」を、また金融機関では2019年3月に当時の島田信用金庫（現島田掛川信用金庫）と、2020年7月に静岡信用金庫と、2020年9月に三島信用金庫と「中小企業等支援に関する包括連携協定」を締結しています。

《当日の出席者》

富士宮信用金庫

- ・山本勝則氏（理事長）
- ・小池孝治氏（常務理事）
- ・伊藤壽文氏（常務理事）
- ・佐野禎威氏（常勤理事）
- ・松浦由美氏（常勤理事）
- ・篠原 勇氏（常勤理事）
- ・佐野雄士氏（常勤理事）
- ・後藤和史氏（常勤監事）

静岡同友会

- ・井上 斉氏（代表理事）
- ・簗 威頼氏（副代表理事）
- ・阿久澤太郎氏（富士宮支部長）
- ・河原崎信幸氏（相談役・支部顧問）
- ・黒松健太郎氏（支部顧問）
- ・朝日 康典氏（支部顧問）
- ・伊藤 洋子氏（副支部長）
- ・穂坂 勝彦氏（政策副委員長・副支部長）

第48回青年経営者 全国交流会

初のオンラインによる全国大会 全国より約1500名が参加!!

9月17日(木)～18日(金)

「志高く集いし仲間と未来に挑む」青年部50年の歴史を紡ぎ、今こそ同友会運動と企業経営は不離一体の実践を」をスローガンに、青年経営者全国交流会(以下青全交)がオンラインで開催され、静岡から29名、全体で約1、500名が集いました。1日目は「人を生かす経営」「社員が輝く企業づくり」「市場と雇用の創造」などをテーマに14分科会に分かれて学びあい、2日目は全体会をYouTubeでライブ配信しました。



第8分科会の様子

今回、静岡は第8分科会を担当。杉本かつ行氏(有)静岡木工・榛南支部)が報告者を務めました。年初から県青年部を中心にZOOMを活用して連絡を取り合い、準備を進めてきました。青全交当日は室長の塚本和成氏(有)塚本商店・県青年部会長)が全体進行とZOOM操作、座長の齋藤寧氏(株)齋藤組・静岡支部)が報告者をサポート、渡邊且真氏(株)協和・県青年部副部長)が運営全体のサポートを行い、静岡の事務局から全国へ杉本氏の実践事例を発信しました。

全体会の様子は中小企業家しんぶん(10/5号)に掲載されていますのでぜひご覧下さい。以下、杉本氏の報告概要と参加者感想をご紹介します。

第8分科会

神棚に想いを込める、本質を捉え、変化に対応する、

報告者：(有)静岡木工 代表取締役 杉本 かつ行氏(榛南支部)

(有)静岡木工へ入社 業界は大きな転換期に

弊社はオルゴールやキッチン雑貨、挽物、神棚など木製品の製造会社として祖父が創業、来年で創業60年を迎えます。私は2002年に入社、その頃はほぼ自社工場は稼働しておらず、問屋のような形態でした。というのも2代目社長の父がホームセンターへの営業に力を入れ、徐々に外部の委託比率が増えたからです。しかし右肩上がりに成長していたホームセンター業界は2000年頃を境に市場が停滞、店舗数は増加を続けていたのでオーバーストア状態に。結果、価格競争が始まり、私自身も価格優先の考え方になっていきました。この頃、中国製品が日本に入り、さらに価格競争が激しくなります。

価格競争の末の失敗と 事業方針の転換

安い商品を製造するため、弊社は2005年に中国へ進出しますが、現地社員との間に溝が生まれ、予定通りの安い商品は提供できず、品質は低下。大手取引先との取引

終了という事態を招きます。当時は父も私も安ければ良いと考えていましたが、一番の失敗は価格競争により自社の存在意義を見失ったことでした。ここから品質重視に方針転換し、多額の借入金を抱えながら「これが最後」との思いで取り組んだのがEC事業です。大手ショッピングサイトに自社ページを開設、お客様と直に接する中で気づきがありました。お客様に喜んでもらうために品質の改善などを進めた結果徐々に売上が伸び、EC事業が一つの柱に。光が少し見えてきた時、父から私に代表交



モダン神棚

洋風モダン神棚
Fudamori

※神具は別売です。

代の話があり、32歳の時に社長に就任しました。

経営指針書の作成を通して 事業の本質に気づく

悩んでいた時期に同友会の経営指針を創る会で経営指針書を作成。安くて品質が良い。部分を自社の存在意義や強みと考えていましたが、スタッフに「それは強みではない、どこでも同じだ」と言われ、自社の事業の本質を考えるきっかけになりました。お客様の声に立ち返り、神棚は「安心して生活できるようにお神札をお祀りし日々の暮らしに感謝と祈りを願うもの」「お客様の生活に安らぎを提供できるもの」だと気づくことができ、自社の事業の本質に至ります。そして売上が半分になる覚悟で神棚一本に絞ることを決めました。

木製品から神棚専門へ

そこからは神棚専門店として品質を追求。洋式に合う神棚として「モダン神棚」を開発しました。さらにデザイナーに依頼して生まれた神棚「かみさまのたな」で2016年グッドデザイン賞を獲得。授賞式には社員と参加し、皆で喜び合いました。受賞をきっかけに社員が自信を持って商品を販売するようになりました。現在では静岡と東京に店舗を展開。10年前は倒産寸前まで行った弊社がお客様からの声、同友会での



杉本 かつ行氏

学び、社員や仲間の協力で変わり、売上は3億から9億7000万円まで伸び、卸先も増えました。

新型コロナウイルスによる影響で売上減に悩みましたが、テレワーク導入やオンライン販売の強化で危機を乗り越えることが出来ました。不安な状況の中、私の軸になったのは経営指針書でした。指針書のおかげで社員と未来に向けて歩めています。これからは神棚への思いを忘れず、変化に適應する企業づくりに邁進していきます。

「杉本氏の分科会に参加しての感想」

失敗を糧に商品への想いを 追求した経営者

杉本氏の思い切ったチャレンジや失敗を経て成長してきた様がリアルに伝わりました。「追い込まれてからが勝負なんだ」というメッセージを頂いた気がします！経営者としても青年部としてもまだまだチャレンジしなければと強い想いを再確認出来た報告でした！今回バズセッションでは全国大会初グループ長を担当。緊張しましたが、同じグループの参加者の会社HPを事前に拝見するなど準備をして望みました。緊張を少しでも和らげるのは準備や練習の積み重ねに尽きるのかなと感じました。同グループになった愛知同友会の方から初日終了後に自社の工場を見学したいとの事で電話を頂きました。バズセッションで打ち解けられた証拠でもあり自信に繋がりました。そして「すぐ行動する！」と言う愛知同友会の方の姿勢にも学び、気づきの多い青空交となりました！

望月康平氏（株）力ネキユウ・静岡支部

「参加者感想」 第9分科会

Change The Mind 先見性を持った真の経営者へ

報告者：平澤 本気氏

（株）A モンライン・愛知同友会

平澤氏は、先代の会社に入社するも意見のすれ違いから、26歳の若さで独立創業した運送業者です。創業以来、部活しながらのワンマン経営を貫き社員が定着せず悩んでいた平澤氏を変えた転機はM&Aでした。ちょうど社員3名が退社した厳しい時期にM&Aしたことを後悔し、初めて社員に相談することができました。今までは「社員を使って自分をいかに輝かせるか」と考えていましたが「真の経営者とは社員を輝かせるサポーター」と考えを180度変えたところから、快進撃が始まります。社員と経営指針合宿を行い作成し、ビジョンを絵画にして貼り出すと、社員が自ら考え行動するようになりました。プレイヤーを脱却し経営者に専念することで600万円の経費削減に成功し、社員のありがたみが実感できたそうです。社員との接し方が変わるに従って会社が良い経路が分かり、改めて同友会3つの目的の重要さを確認できた分科会でした。

吉田和弘氏（吉田道明税理士事務所・志太支部）

【ご案内】会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私～」

10月は富士でサテライト会場を設営します！

日時：10月23日(金)19:00～20:30

会場：同友会会議室 or 富士ロゼシアター or ZOOM

報告者：山本 健二氏(有)日本スエーデン・静岡支部

富士・富士宮地域の方は
ぜひロゼシアターへ！



お知り合いの経営者の方をお誘いの上、ぜひご参加ください！
詳細は同封の案内をご覧ください！

10月・11月

DOYU CALENDAR

10月15日(木)～11月16日(月)

10月 15日(木)	榛南例会 (19:00 きてご榛原) 中遠例会 (19:00 ZOOM) 浜松例会 (19:00 クリエイト浜松&ZOOM) 富士例会 (19:00 ロゼシアター&ZOOM)
19日(月)	2025ビジョンプロジェクト (17:30 同友会事務局&ZOOM)
20日(火)	出会いと学びと交流の場 お昼に語ろうオンラ イン交流会 (12:00 ZOOM) 県例会企画委員会 (18:00 ZOOM)
21日(水)	伊東例会 (19:00 伊東市健康福祉センター&ZOOM) 県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
22日(木)	中同協 人を生かす経営オープンセミナー (13:00 ZOOM) 県障がい者問題委員会 (18:00 ZOOM) 第17期経営指針を創る会 第6講 (19:00 同友会事務局&ZOOM)
23日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私」 (19:00 同友会事務局&富士ロゼシアター&ZOOM)

26日(月)	三島例会 (19:00 ZOOM)
28日(水)	志太例会 (18:30 島田掛川信用金庫七丁目支店&ZOOM) 沼津例会 (18:30 沼津市内&ZOOM)
31日(土)～ 11月 1日(日)	第17期経営指針を創る会 一泊研修 (9:00 場所未定)
10日(火)	第34回全県経営フォーラム (13:00 ZOOM)
11日(水)	御殿場例会 (19:00 エピスクエア&ZOOM) 正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
16日(月)	第23回女性経営者全国交流会 (13:00 オンライン)

《 あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください 》



公式YouTubeチャンネル 動画配信中！



←ココからチェック

公開中！

会員経営者のここできしか聞けない

生の経営体験報告！

第1回	(株)アサギリ	簗威頼氏 (県副代表理事)
第2回	(株)青山建材工業	青山達弘氏 (県副代表理事)
第3回	松葉倉庫(株)	松葉秀介氏 (県副代表理事)
第4回	(有)日本スエーデン	山本健二氏 (経営指針を創る会会長)
第5回	(有)リアス	増田崇氏 (県経営労働委員長)
第6回	(有)塚本商店	塚本和成氏 (県青年部会長)
第7回	(有)島村歯車製作所	桑崎雅人氏 (県副代表理事)
第8回	インタープランニング(有)	富山達章氏 (静岡支部)
第9回	(株)トライ・カンパニー	水田裕文氏 (沼津支部)
第10回	(株)金沢紙工	金澤仁氏 (静岡支部)
第11回	(有)イーリード	越膳徹氏 (沼津支部長)